

第31回東海高等学校新人大会

女子2回戦

試合日	2018/2/10
会場	パークアリーナ小牧
コート	C
開始時間	14:20

TEAM A

桜花学園	34	-	9	41	県立いなべ総合 三重2位
愛知1位	23	-	11		
	18	-	10		
	27	-	11		
	OT				

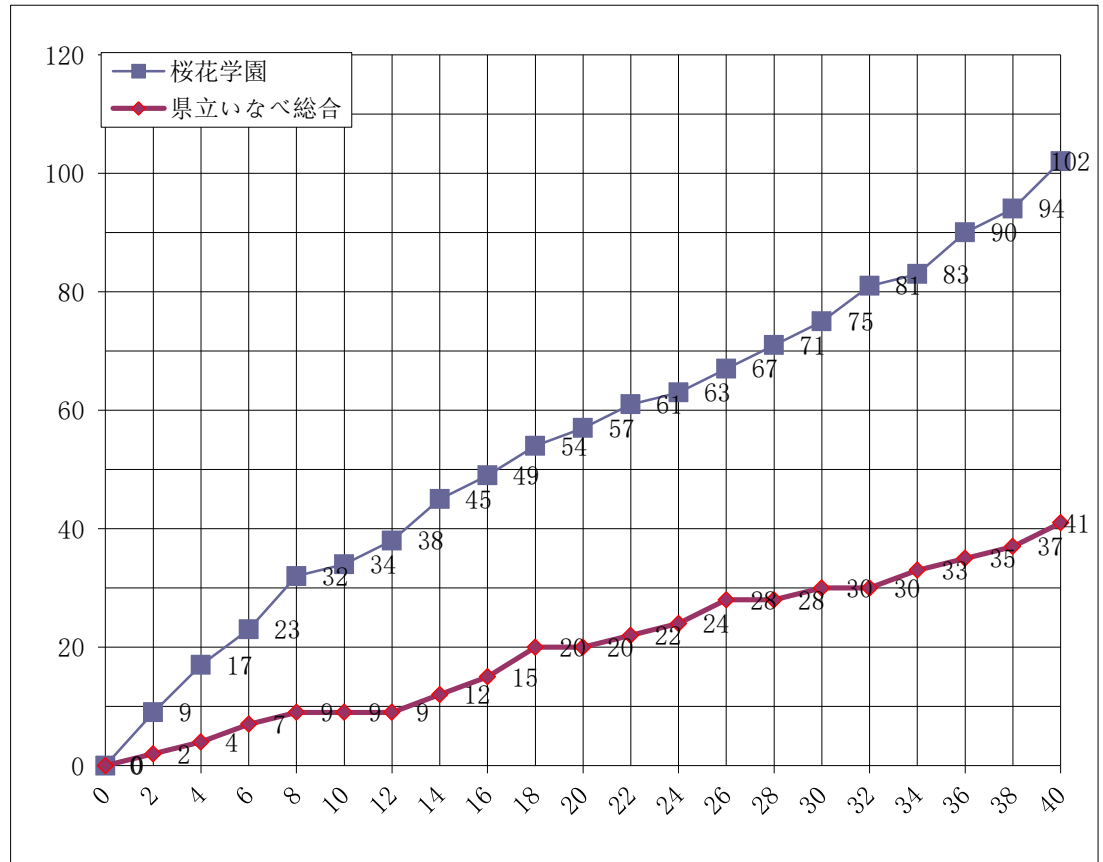
TEAM A 桜花学園 愛知1位

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	坂本 雅	8	0	3	2	0
5	*	福島 真衣	5	1	1	0	1
6	*	伊森 可琳	22	0	8	6	0
7	*	モハメド 早野夏	6	0	2	2	1
8		中澤 梨南	-	-	-	-	-
9	*	平下 愛佳	16	0	7	2	1
10		窪田 真優	0	0	0	0	0
11		桂 蘭	7	0	3	1	0
12		平島 夏歩	2	0	1	0	0
13		中山 桂	3	0	1	1	3
14		岡本 美優	10	0	4	2	0
15		田中 平和	23	0	11	1	1
16		中山 紗那	0	0	0	0	1
17							
18							
TEAM/COACH			/	/	/	/	-
TOTAL			102	1	41	17	8

TEAM B 県立いなべ総合 三重2位

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	伊藤 里紗	0	0	0	0	0
5	*	佐野 由依	2	0	0	2	3
6	*	奥村 優花	6	0	2	2	3
7		樋口 沙希	3	1	0	0	2
8	*	大村 彩子	5	1	1	0	5
9		中村 明日香	0	0	0	0	0
10		掛田 夢	-	-	-	-	-
11		矢幡 奏依	3	1	0	0	0
12		小川 桃佳	-	-	-	-	-
13		橋本 亜耶	11	1	4	0	2
14		宮本 美紗樹	11	1	4	0	3
15		渥美 真衣	0	0	0	0	0
16		中村 菜央	-	-	-	-	-
17	*	森下 嬢花	0	0	0	0	3
18		奥岡 胡美	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	-
TOTAL			41	5	11	4	21

【 得点経過 】



【 戦評 】

1回戦接戦をものにしたいなべ総合が、愛知県王者の桜花学園に挑む。

1P両チームともにハーフコートマンツースタート。開始直後エンドラインスローインから桜花学園#7がうまくノーマークを作り得点する。桜花学園ベンチからは、スリークォーターからディフェンスをするように指示。ここから桜花学園のテンポが上がる。オフェンスではボールが回り、スペースが空くと鋭くドライブし得点を重ねる。いなべ総合も#8の3Pなどで応戦するが、桜花学園#6#7にリング下を支配され、なかなか失点を抑えることはできない。ペースを握った桜花学園が34-9とリードしてこのピリオドを終えた。

2P引き続きお互いにマンツーマンであるが、いなべ総合は桜花学園のインサイドオフェンスを抑えられない。インサイドにディフェンスを集中させると、桜花学園#9のドライブを許すなど苦しい展開。多彩なオフェンスを見せる桜花学園が確実に得点を重ねる。いなべ総合もトランジションのスピードを上げて#14#7の3Pなどの得点につなげる。しかし、試合の展開が早くなると、桜花学園のオフェンスはさらに勢いを増す。#9のカッティング、#6#7のインサイドプレイヤーの積極的なブレイクの参加で得点を重ねる。57-20とさらに桜花学園がリードを広げこのピリオドを終えた。

3P開始直後から、いなべ総合はゾーンディフェンス。軽快なフットワークで桜花学園のオフェンスを食い止める。途中互角の戦いを見せるが、桜花学園#14#15のインサイドプレイヤーが、徐々に支配力を発揮し得点が離れ始める。いなべ総合の厳しい状況は変わらず、75-30と桜花学園がリードを広げた。

4P開始直前いなべ総合ベンチからは、選手にディフェンスを厳しくするように激がとぶ。桜花学園は開始直後バスマスをする、すかさずメンバーチェンジ。ベンチでは細かく指示があり、大差であってもプレーへの強いこだわりを感じる。お互いの選手が、ベンチの思いに応え、いなべ総合の激しいディフェンス、それに負けない桜花学園#14のインサイドプレーなど両チームの良いプレーが展開される。試合終了まで、集中力の切れないナイスゲームであった。102-41で、桜花学園が準決勝へと駒を進めた。

記入者 堀 洋嘉